

7.5.西部エリアのまちづくり構想

（１）エリアの概況

①エリア特性

エリアの構成

- 西部エリアは主に、本市の中心部より霧島山麓に続く田園・山岳空間で構成される。
- 高原町、鹿児島県霧島市・曾於市と接している。

人口・・・山間部の高齢化、人口減少が著しい

<現状>

- 人口は約1.7万人（平成27年現在）で、平成22年と比較して8.0%の人口減である。
- 高齢化率は36.8%で、北部に次いで高く、特に山間部の集落においてその傾向が著しい。

<将来>

- 人口は約1.1万人（令和22年推計）で、今後も人口減少が進むものと予想される。
- 高齢化率は40.8%（令和22年推計）で、今後も高齢化が進むものと見込まれる。

産業・・・畜産業、農業が盛んで、県内有数の観光集客施設がある

- 農林業に特化した地域であるが、エリア南東部の白地地域（庄内、菓子野、乙房）で農地転用による開発が見られる。
- 霧島方面に至る県道沿いには田畑が多く分布し、霧島山麓の国道223号沿いには畜産業が多い。
- 山間部で遊休農地が広く分布している。
- かかしの里ゆぼっぱ、母智丘関之尾公園、牧場型観光施設は県内でも有数の観光客数を誇る。

暮らし・・・山間部に医療施設が不足しており、公共交通の利便性が低い

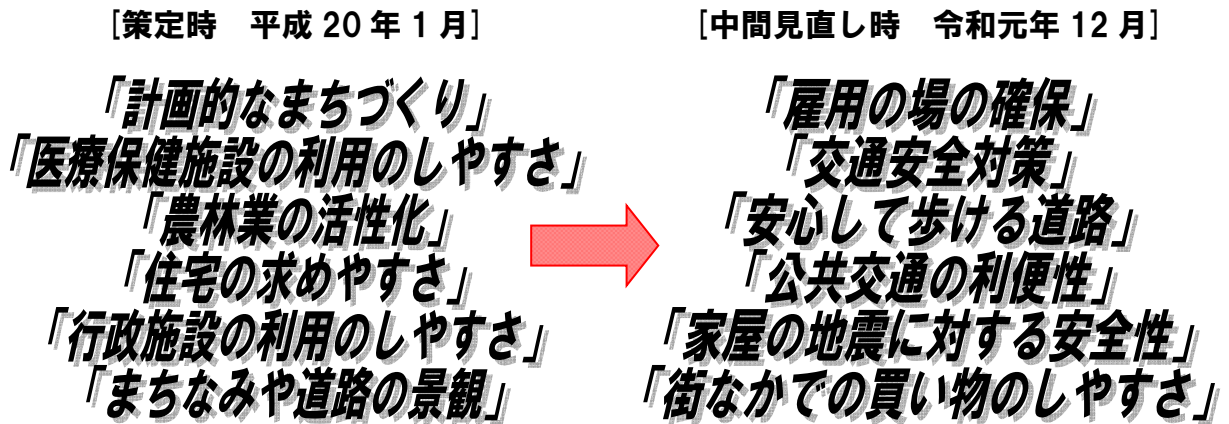
- バスが通っているものの、本数が少なく利便性は低い。また幹線道路を外れると、公共交通が不便な地区が存在する。
- 西岳地区など都市計画区域外は救急車到達10分圏外となっている。
- サービス水準について、幹線道路、スーパー・コンビニは全市平均より低く、特に身近な公園、病院・診療所は全市平均の半分以下と低い。

資源・・・高千穂峰の麓に美しい風景が点在する

- 霧島山麓に続く山地や御池、神々溝、稲妻山郷土の森、関之尾滝、母智丘関之尾公園、一堂ヶ丘公園、千足溪谷など自然景観に優れている。
- 庄内町には三島通庸が区割りした石垣、生け垣が残る。
- 霧島バードライン（国道223号、県道都城霧島公園線）沿道には良好な道路景観がある。

②エリア意向（市民意識調査結果）

満足度が低く、重要度の高い改善・見直しが必要な主な施策は下記のとおりとなっている。



③エリアの位置づけ

- 農林畜産物の供給基地であり、豊かな自然と共生しながら環境学習、自然・農業体験などエリア内外との交流を積極的に推進する
- 霧島神宮、霧島温泉方面からの玄関口であり、観光・レクリエーション資源を活用するエリア



▲一堂ヶ丘公園



▲関之尾滝

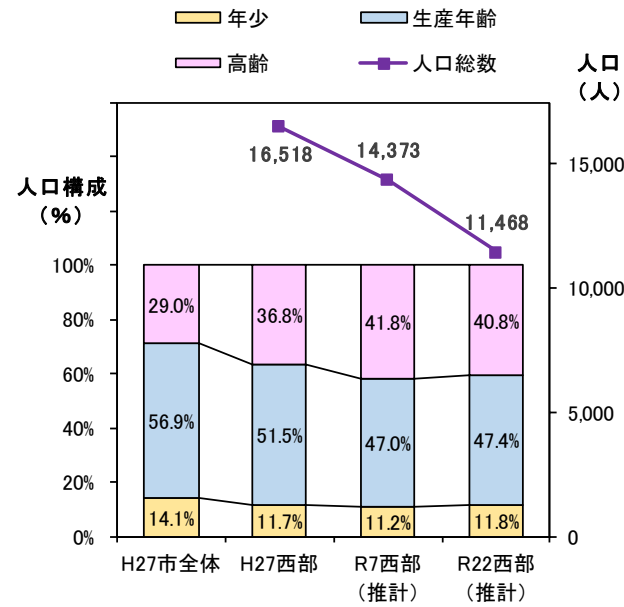
地域カルテ【西部エリア】

[地域の位置と概要]



面積：19,194ha 人口(H27)：16,518人
用途地域：78ha 世帯数(H27)：6,854世帯

[人口推移及び年齢3区分別人口構成]



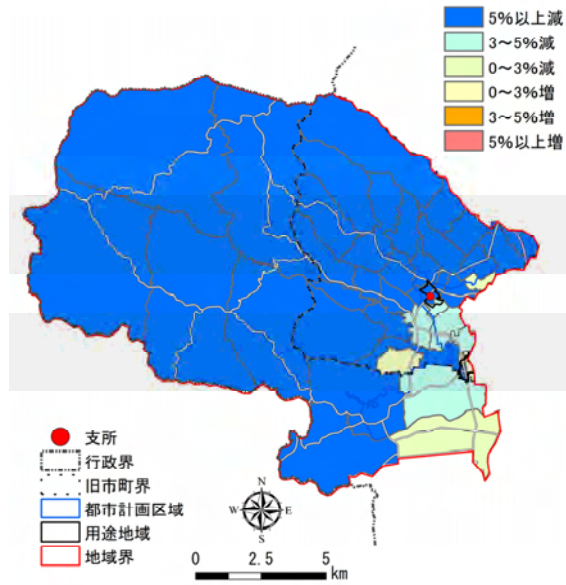
[人口密度 (H27)]



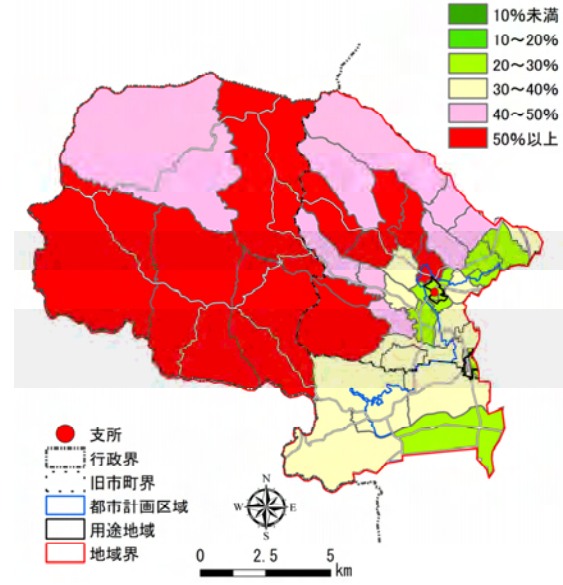
[法適用状況]



[人口増減率 (H27/H22)]



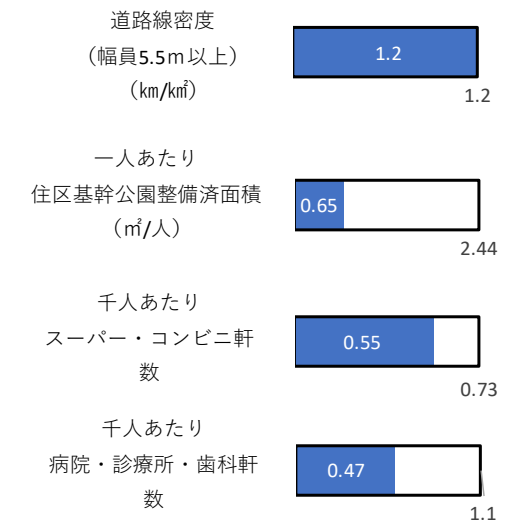
[高齢化率 (H27)]



[土地利用]



[施設整備水準]



[空家状況 (H28、29)]



[新築動向 (H23~29)]

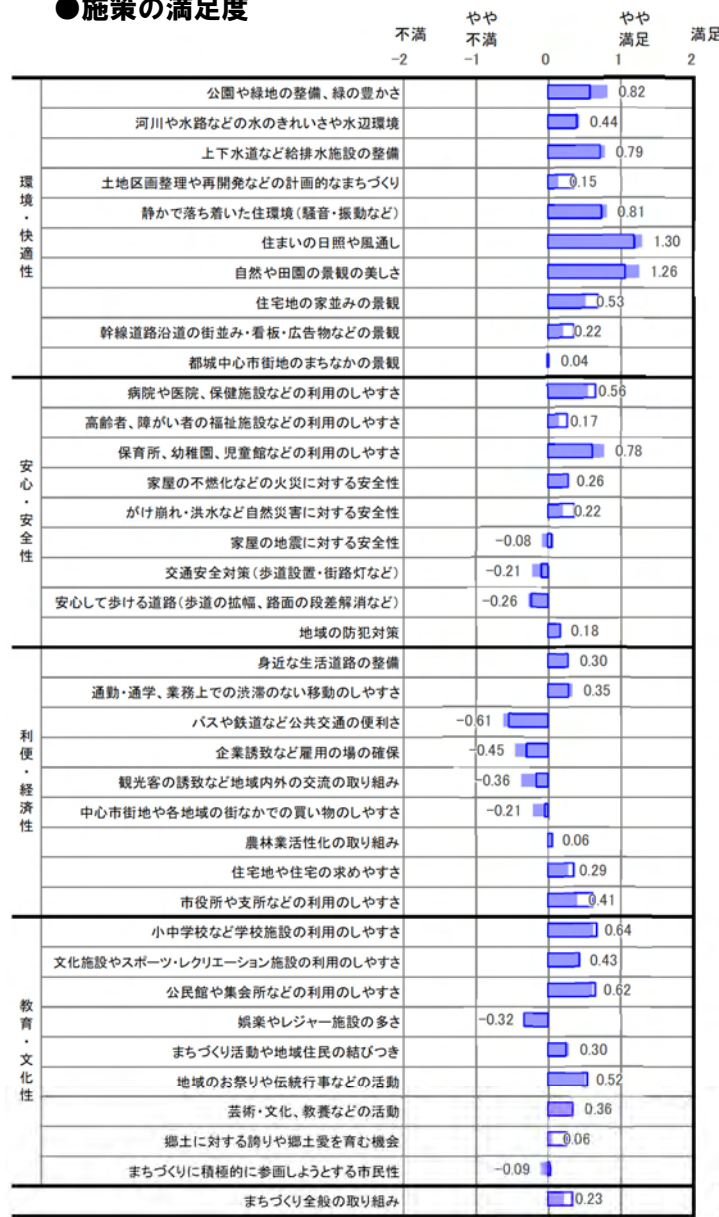


[地域の資源]

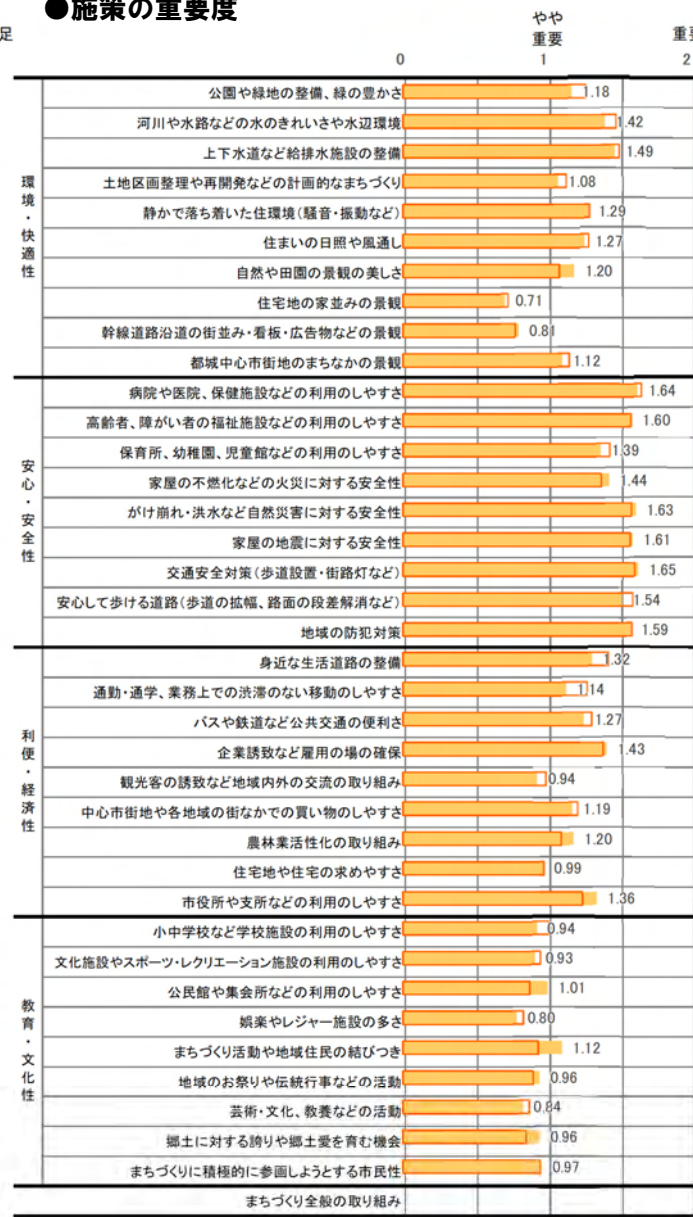
自然歴史	<ul style="list-style-type: none"> 霧島山麓、御池、神々溝、関之尾滝、夏尾の風穴、千足川溪谷、夢ヶ丘など 諏訪神社、御池神社、千足神社、明観寺跡、願心寺、山田(華舞)神社、安永城跡、大塚洞窟、庄内古墳、薩摩迫館跡
まちなみ・景観	<ul style="list-style-type: none"> 霧島バードライン(国道223号及び県道都城霧島公園線)沿道の自然景観 庄内町の石垣と生け垣によるまちなみ、木之川内ダム、霧島連山の山なみ、一堂ヶ丘公園、夢ヶ丘の眺望
公共的施設	<ul style="list-style-type: none"> 山田温泉交流センター、かかしの里ゆぼっぼ、御池青少年自然の家、山田運動公園、一堂ヶ丘公園

[市民意向]

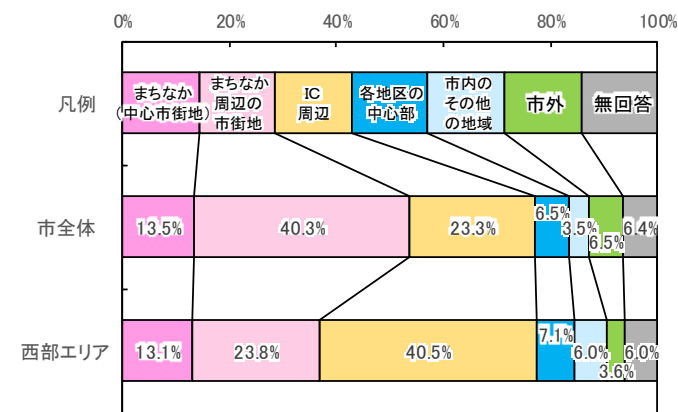
●施策の満足度



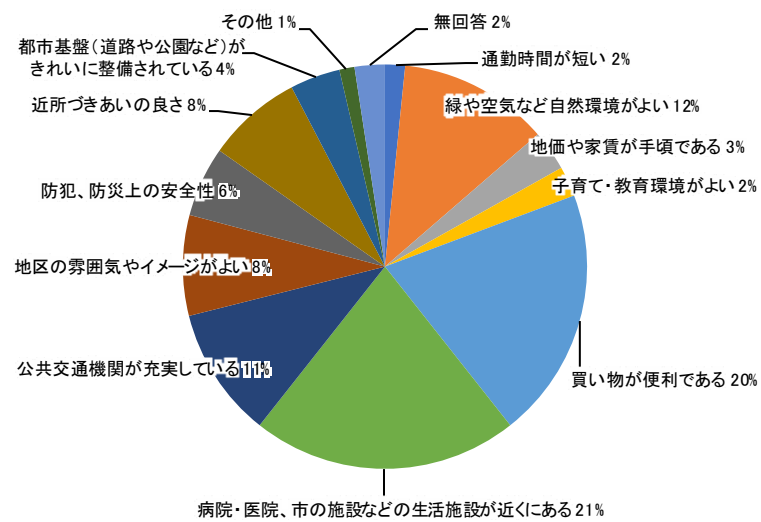
●施策の重要度



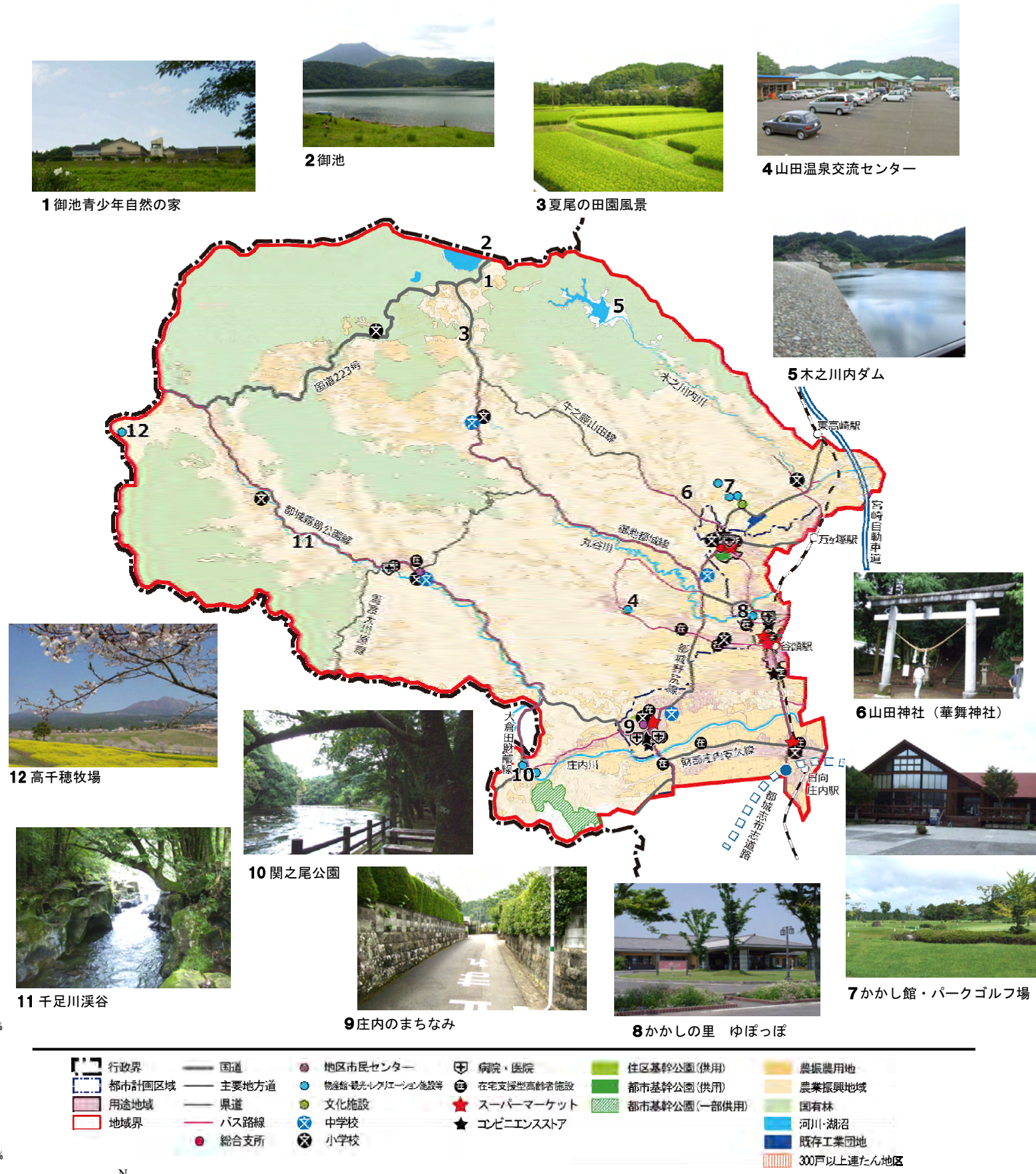
●居住意向



●郊外の市街地に住み替えて最も重視したいこと



[施設分布図]



（２）まちづくりの主要課題

著しい人口の減少と高齢化が見られ、活力の低下が懸念される本エリアにおいては、病院・買い物など日常的な暮らしを守るとともに、霧島山麓からの自然の恵みを活かし、エリアの活力の維持・増進を図ることが必要です。

①暮らしの安全や環境を重視した田園・山間集落の維持

『視点：安全・安心／移動／住まい』

本エリアは、水とみどりを育む山林と田園空間に囲まれ、豊かな自然の恵みがあり、そこに居住する人々はそれらを上手に暮らしに活かしています。しかし、高齢化が進んでいる地区もあり、その管理の担い手の確保が課題と言えます。

また、精神的な豊かさを求める価値観の多様化に伴い、このエリアの自然環境の中で培われた暮らしは、『ここに永く住みたい』『週末や休日にゆっくり過ごしたい』といった気持ちを喚起する魅力を秘めています。そのため、エリアの定住・交流人口の向上に努めて、集落の活力と安全性を高めることが大切です。

本エリアでは、人口減少による地域生活拠点の活力の低下と高齢化に伴う移動弱者の増加が懸念されています。その課題に対応するために、本エリアの地域生活拠点機能を維持していく取組を進める必要があります。

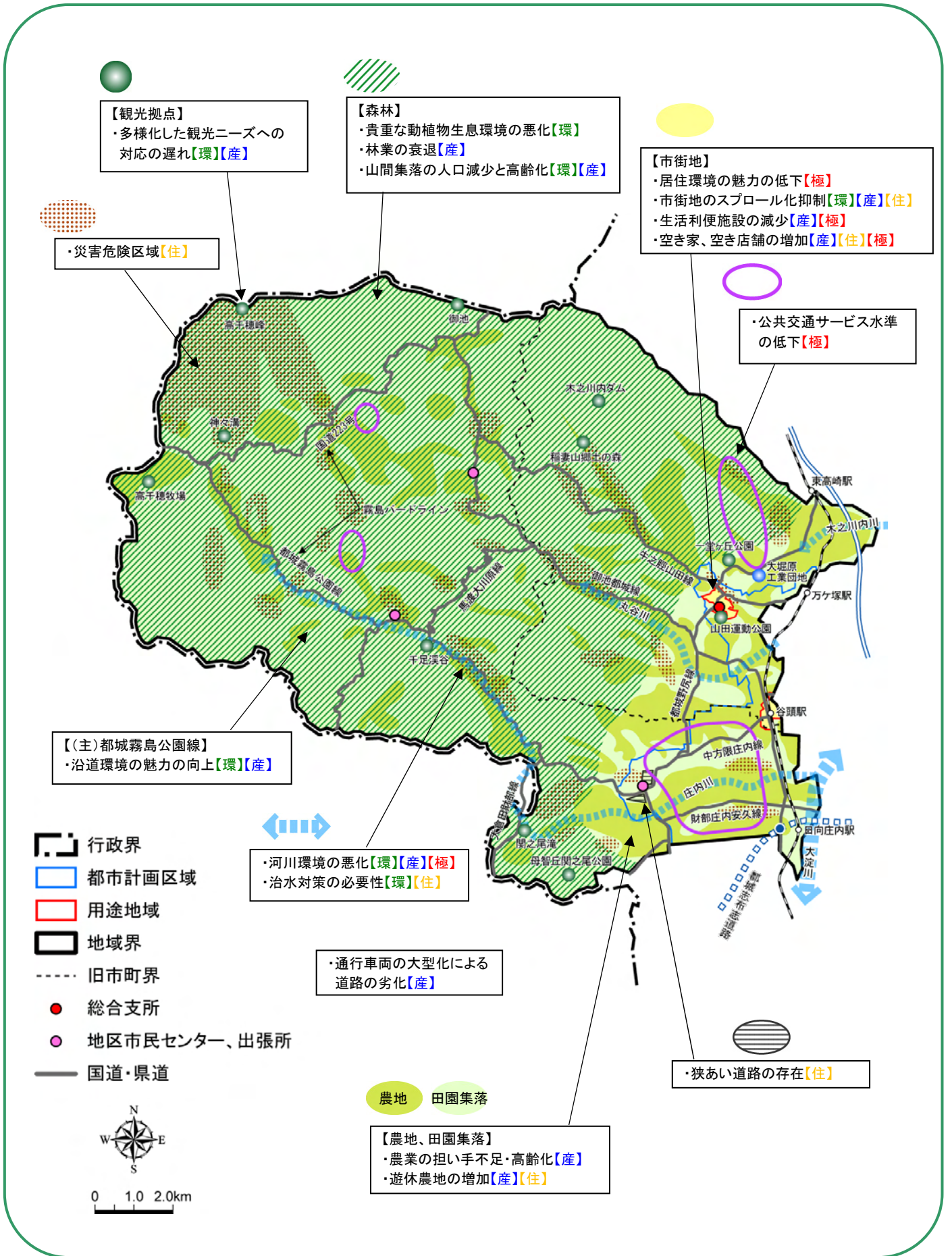
②豊かな自然・農業とのふれあいなどを通じた地域資源の活用

『視点：にぎわい・活力／環境・循環』

本エリアに隣接する霧島温泉郷は国内有数の観光地です。したがって、本エリアを本市の西の玄関口として、数多く点在する観光資源との連携を強化して回遊性を高める必要があります。

エリアの活性化のためには、地域資源や農畜産業を活用し、エリア内外の人々との交流の場づくりなどが課題と言えます。

まちの課題図



（３）エリアのまちづくり方針

①エリアの将来像



②まちづくりの基本目標

1) 安心して暮らせる集落機能の維持

本エリアは、霧島山麓の水とみどりからなる豊かな自然環境や美しい田園景観に恵まれています。一方、山田、庄内、西岳の地域生活拠点は、郊外型店舗の立地や交通利便性の悪さなどにより、その求心力の低下が見受けられます。

そのため、安全な暮らしを続けるには、災害に強く、周辺的环境や農業と調和した居住環境の形成を進める必要があります。さらに、サービス機能については、維持することに努め、隣接した拠点と補完しあうことにより、その利便性を確保していくことが必要です。

また、魅力ある田園山間居住を進めるために、石垣・生け垣の続くまちなみの保全など、歴史と個性を活かしたまちづくりをめざします。

2) 霧島を活かした観光・レクリエーション機能の充実

エリア内には、県内外から観光客を誘致するレクリエーション施設や自然景勝地が数多く点在します。

また、基幹産業として農林畜産業が盛んです。これらの地域資源の連携を深めるために、人・産業・道・情報のネットワークを強化し、魅力あるまちづくりをめざします。

③まちづくりで重視すべき視点

【極】暮らしを支える生活拠点の維持

【地域生活拠点機能の維持】

山田総合支所及び谷頭駅周辺、庄内・西岳の地区市民センター周辺は、本エリアの地域生活拠点としての機能を担う地区です。

しかし、空き店舗などの低未利用地の増加、にぎわいの低下、医療保健施設の不足などが地域住民の切実な問題として挙げられます。したがって、行政や医療、買い物などのサービス機能の確保を図り、暮らしを支える地域生活拠点の維持が重要です。

そのために、本エリア内の暮らしに悪影響を及ぼすような施設の地域生活拠点外への立地などを抑制します。

【環】良質な自然環境の保全及び活用

【自然環境の保全】

本エリアは、西部を霧島連峰へとつながる豊かなみどりに囲まれ、高千穂峰や関之尾滝、夏尾の風穴、神々溝、千足川渓谷など、希少種を含む自然資源が数多く点在しています。これらの資源は、エリア住民のみならずエリア外から訪れる多くの人々の心身をリフレッシュする空間となっています。

そのために、自然環境の悪化に結びつく開発を抑制するとともに、生活排水対策などによって河川、用水路などの水質保全などを努めます。

【霧島への景観を活かした道路空間の形成】

千足川渓谷沿いを上り高千穂峰を望む『県道都城霧島公園線』と、霧島山麓の木々の間を縫って横断する『国道223号』は、霧島パードラインを形成しています。その沿線上に点在する観光資源の連携、回遊性を向上させるために、沿道の修景を促進し観光道路としての魅力を高めます。

さらに、地域住民及び観光客が、自然の恵みを十分に満喫するために、散策ルートの作成や案内板の設置など、PRの促進を図ります。

【産】レクリエーション施設と自然資源を活用した観光振興

【地域資源を活かした景観の保全】

本エリアには、かかしの里ゆぼっぱ、母智丘関之尾公園、牧場型観光施設など、優れた自然景観を活かした利用者の多いレクリエーション施設があります。これらの施設の魅力を保つために、地域住民と協働して自然・田園景観の保全を推進します。

【豊かな自然や地域資源、農村文化を活用した体験交流の促進】

本エリアでは、恵まれた自然環境や基幹産業である農業・畜産業を活用し、良質な自然体験・農業体験の場として提供するなど都市住民との交流を通して、農産物の生産拡大及び農村地域の活性化が必要です。

そのために、農業施策と連動した適切な土地利用を推進します。

【住】豊かさを感じ、安全・安心に暮らすことのできる地域づくり

【安全・安心な道路交通ネットワークの構築】

人口減少、高齢化が著しい集落地区の生活利便性を維持するため、民間と連携し、地域レベルの基幹公共交通サービスや宅配サービスなどを検討します。

さらに、本エリアのほぼ全体にあたる山田、庄内以西の山間地は、救急車両 10 分到達圏拡大のための広域的な救急体制や交通ネットワークを検討します。

【災害に強いまちづくりの促進】

霧島山麓にある本エリアは、土砂災害危険区域が山間部に広く分布し、火山活動や豪雨などの災害の影響を受けやすい地域です。よって、住民の安全性の向上を図るために、土砂災害防止法に基づく安全対策の実施、ハザードマップの活用、情報伝達網の整備、防災意識の向上などにより災害に強いまちづくりを促進します。

【豊かな自然や歴史の中で暮らせる田園・山間居住の実現】

本エリアの豊かな自然は、農業に従事する住民の暮らしの場であり、スローライフを楽しめる場です。また伝統的な民家・生け垣などがあり、歴史的情緒を漂わせた落ち着いたあるまちなみがあります。

これらの地域色を活かし守るために、地域住民と協働して地区計画など利用し、暮らしたくなる居住環境づくりを推進します。

また、地域住民との連携のもと、空き家・空き地等の発生を抑制する仕組みづくりや利活用について検討するとともに、居住誘導区域内の空き家活用の推進や田園集落ゾーンにおける農地付き空き家の利活用推進等を図ります。





まちづくり方針図

田園居住ゾーン
山間居住ゾーン
<ul style="list-style-type: none"> ○一団のまとまりのある集落地における生活サービス施設の維持 ○自然や農業とのふれあいを大事にする田園居住（菜園付き住宅など）や山間居住（工房付き住宅など）の推進 ○里山、農地の適正な管理と有効利用

産業・物流ゾーン
<ul style="list-style-type: none"> ○都城志布志道路のIC周辺を中心に産業施設の立地誘導 ○農業政策と連携した土地利用の規制

森林ゾーン
<ul style="list-style-type: none"> ○霧島連峰に続く広大な森林地帯及び点在する御池、神々溝、千足川の渓谷など、希少種の保全及び自然資源の災害対策を考慮した保全や、木之川内ダム、稲妻山郷土の森などを活用した自然体験学習の場の提供 ○谷頭駅南部に連続する、市街地からの中景を構成するみどりの保全 ○都城霧島公園線沿道の修景による霧島山麓地域と関之尾地域とのネットワークの魅力化及び移動円滑性の強化

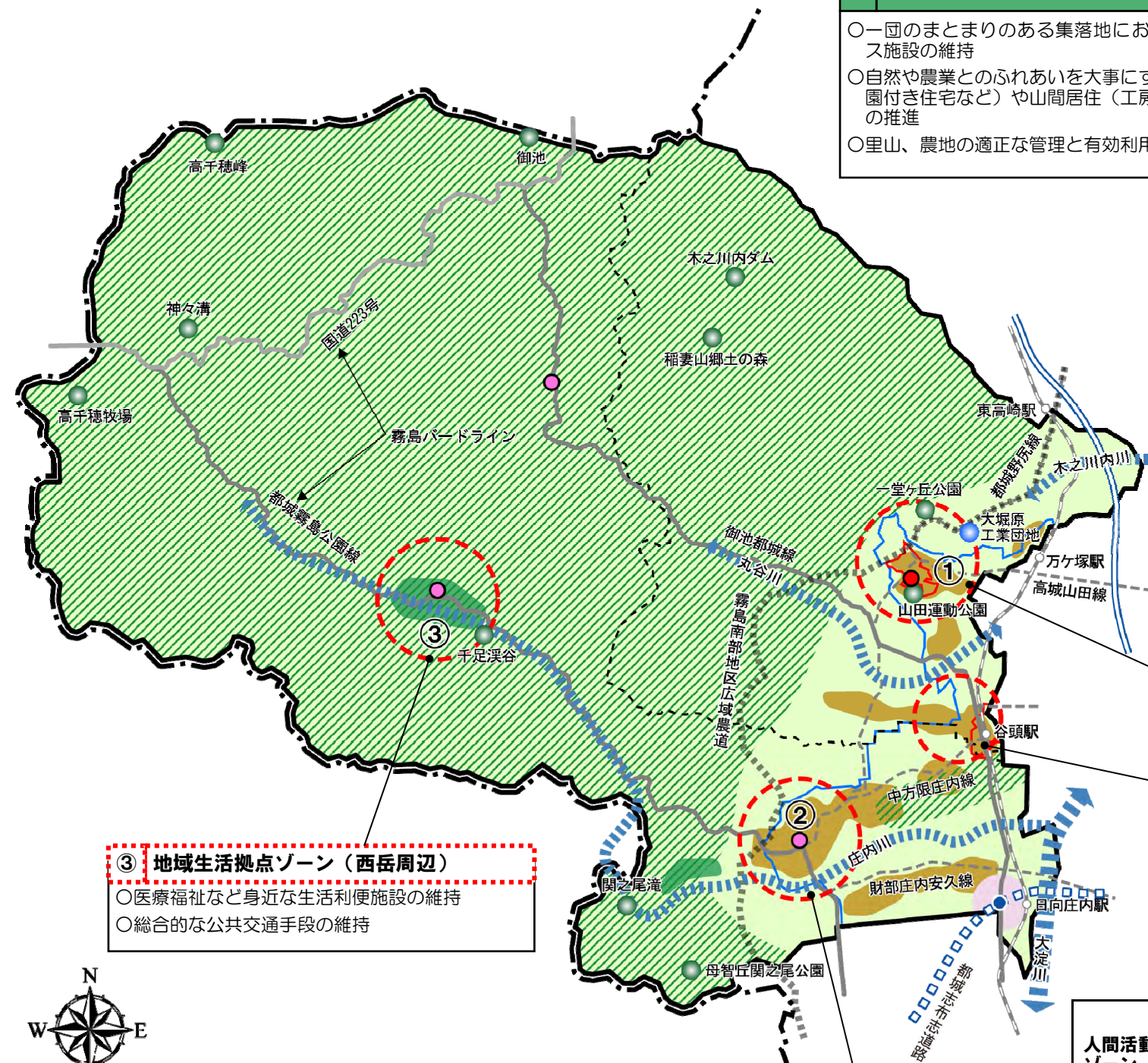
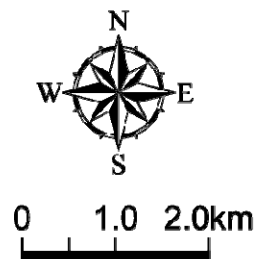
食料生産ゾーン
<ul style="list-style-type: none"> ○用途地域外の農振農用地を保全し、自然と調和の取れた土地利用を堅持 ○庄内川、丸谷川などの水系を軸として広がる田畑の保全

① 地域生活拠点ゾーン（山田周辺）
山田スポーツ文化交流拠点（総合支所周辺）
<ul style="list-style-type: none"> ○公園など都市基盤施設の維持 ○農業体験などを通じた都会との交流の推進 ○総合的な公共交通手段の維持
山田日常生活拠点（谷頭駅周辺）
<ul style="list-style-type: none"> ○店舗、医療福祉など身近な生活利便施設の誘導 ○道路・公園など都市基盤施設の整備及び維持 ○総合的な公共交通手段の維持

③ 地域生活拠点ゾーン（西岳周辺）
<ul style="list-style-type: none"> ○医療福祉など身近な生活利便施設の維持 ○総合的な公共交通手段の維持

② 地域生活拠点ゾーン（庄内周辺）
<ul style="list-style-type: none"> ○店舗、医療福祉など身近な生活利便施設の重点的な誘導 ○安永城下の麓集落の石垣のまちなみ、寺社、史跡などの保全、石垣の道筋の整備・遊歩道としての活用 ○総合的な公共交通手段の維持

- 行政界
- 都市計画区域
- 用途地域
- 地域界
- 総合支所
- 地区市民センター、出張所
- 幹線系道路網



人間活動ゾーン	都市型	産業・物流ゾーン
	自然共生型	田園居住ゾーン
みどりのゾーン (郊外開発を抑制するゾーン)		山間居住ゾーン
		食料生産ゾーン
その他		森林ゾーン
		水辺のアメニティ空間整備、 河岸段丘の保全